



9月保育所だより



今年の夏はコロナウイルス感染症予防を行いながらのいつもと違う夏休みになったと思います。その中でも楽しい報告をたくさんしてくれる子どもたち。いろいろな経験を通して、体も心も一回り大きくなったように感じます。お休みをとって生活のリズムが崩れている子どももいます。早寝早起きをして、規則正しい生活リズムを心がけましょう。

9月の行事予定

1日	火	特別防災避難訓練
11日	金	誕生日会



ひよこ組・クラスだより

新型コロナウイルスの影響もあり例年より遅いスタートになりました。予定通りの慣らし保育が出来ず心配したお子様もいましたがなんとか保育所のリズムに慣れてきたようです。室内ではチェーンや小さなボールを使って穴の開いた容器や箱の中に落として遊んだりマジックテープやビニールテープを剥がす遊びをしています。どちらも指先を使ったり「掴んだものを入れる、剥がす」といった動作ができるよう成長してきたと嬉しく思います。食事面では「食べさせてもらっていた」初期食、「スティック状のものを食べようとする」中期食から「自分で手づかみで食べようとする」後期食へと移行してきました。保育所では「手づかみ食べ」をさかんに行えるよう見守っています。「自分から進んで食べる」「食べ物と口までの距離感を自分で学ぶ」「手首がまだ未発達でスプーンは難しい」などの観点から手づかみがしっかりできるようになってからスプーンなどを持つようにしています。まだまだ手を出そうとしないお子様やご飯粒だらけになってしまうことも多いのですが、月齢の高いお子様は意欲的に食べる姿が多く見られるようになってきました。ご家庭では朝の忙しい時間など難しいこともあるかと思いますがすぐにスプーンを持たせずにできるだけ手づかみ食べを経験させていただけると良いと思います。そろそろ好きな物、苦手な物が出てきているお子様もいます。よく咀嚼しているいろいろなものが食べられるようになると良いですね。無理強いはせずゆっくりその子のペースで進めていけるよう見守っていきたいと思います。暑い日がまだまだ続きます。赤ちゃんはとって汗っかき、日中は肌着で過ごすこともあります。水遊びをしたり着替えもしますので多めに着替えの補充をお願いします。

毎月給食費引き落とし日をメールでお知らせしています。前日までに残高の確認をお願いします。

今月の世界の“ありがとう”はスペイン語です。

Gracias (グラシアス)



☆わんぱく体操について☆

9月より体操指導を実施します。但し、新型コロナウイルス感染症対策や園庭が使用できない事の事情から今年度は4、5歳児のみの指導とします。

専門指導員（株）総合体育研究所西東京 野村和先生
指導員はフェイスシールドを着用し指導前後は消毒を行います。指導受ける子どもは並ばずに一人ひとり行う。など十分な配慮をして指導させていただきます。種目も跳び箱や鉄棒、平均台など選択し、配慮した上でわんぱく体操を実施します。



★ひよこ組担任：千葉美保が産休に入ります。産休代替保育士として井土貴和子が担任になります。

★送迎の際「自動体温感知カメラ」で「基準値を超えています」のアナウンスが流れた時は必ずインターホンで職員にお知らせ下さいませようお願い致します。



うさぎ組・クラスだより

お友だちと一緒に遊ぶと楽しいと感じる経験ができるようになってきました。おままごと遊びでは役割分担ができるようになり始め、声を掛け合って「私これやるね」「私はこっちやるね」と会話していることがあります。お友だちと同じ格好をしたり、赤ちゃん人形を同じように抱っこ・おんぶ、そしてお世話を見よう見真似でしたりしています。遊びの際にお家のパーテーションを用意すると窓から顔を出して「いらっしゃいませ」「〇〇いかがですか？」「これ下さい」「はい〇〇円です」と楽しみな会話が聞こえてきます。男の子の一部ではレゴブロックを長くつなげて「バンバン」「シャキーンシャキーン」と効果音の出る戦隊ごっこを楽しむようになってきました。夢中になり始めると加熱してしまうので本気のキックやパンチにならないように「本物のヒーローは痛くないキックパンチをしているよ。本当に当たったら痛いからね」と伝えていきます。お友だちとの遊びが楽しめるようになった分言い争いも起こるようになりました。「もう家に来ないでね」「家にも来ないでね」と互いに言い合うと数分後には「ごめんね、一緒に遊ぼう」と仲直りができます。素直な気持ちをぶつけ合いながら互いの気持ちを知る学びの毎日過ごしている子どもたちです。